

乾燥途中のウェット状態の塗膜に押し当て、刻まれた溝の深さで判断します。  
。塗膜面を傷つける方法でつかの間便なため、用途を選んて使用すればとても便利なゲージです。

## 株式会社ケット科学研究所

●URL <http://www.kett.co.jp/> ●E-mail [sales@kett.co.jp](mailto:sales@kett.co.jp)

- 東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507  
TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001
- 大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033  
TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585
- 札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841  
TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866
- 仙台営業所 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802  
TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809
- 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002  
TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677
- 九州営業所 佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053  
TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012

## ウェットゲージ

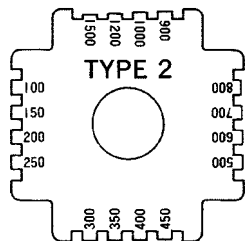
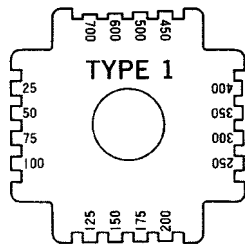
Kett

## 取扱説明書

## ● 測定範囲

1 型	25 $\mu\text{m}$ ~ 700 $\mu\text{m}$
	25 ~ 50 ~ 75 ~ 100
	125 ~ 150 ~ 175 ~ 200
	250 ~ 300 ~ 350 ~ 400
	450 ~ 500 ~ 600 ~ 700

2 型	100 $\mu\text{m}$ ~ 1500 $\mu\text{m}$
	100 ~ 150 ~ 200 ~ 250
	300 ~ 350 ~ 400 ~ 450
	500 ~ 600 ~ 700 ~ 800
	900 ~ 1000 ~ 1200 ~ 1500



## ● 使用方法

塗装中の未乾燥状態で膜厚を測定しながら作業をするときに使用します。例えば、50  $\mu\text{m}$  以上の膜厚管理をする場合には、1 型 25 ~ 100 の面を塗装面に垂直に押し当てます。



左右の両端は同じ高さになっていますので、50  $\mu\text{m}$  の山まで塗料が付着していれば 50  $\mu\text{m}$  以上の塗装であることとなります。(75  $\mu\text{m}$  の山に塗料が付着していなければ塗装の膜厚は 50  $\mu\text{m}$  と 75  $\mu\text{m}$  の間であることとなります。)